

六郷満山1300年祭へ向けて

## 晴天に恵まれ 82人の赤ちゃん大集合 5月3日



弥生のムラで端午の節句イベント「弥生のムラから初誕生」が開催されました。

好天に恵まれた会場には、満1歳を迎える赤ちゃんの健やかな成長を願って、約500の方が訪れました。初誕生のイベントでは、「餅ふみ・餅かるい」、「物えらび」、「泣き相撲」が行われました。泣き相撲では、赤ちゃん達の泣き声と保護者の笑い声で和やかな雰囲気になっていました。



## 両子寺で峯入りの結願法要・採燈護摩

4月30日



安岐町の両子寺で、峯入りの結願法要・採燈護摩が行われました。4月2日から始まった今回の峯入りは、僧侶の修業のため、非公開となっていました。最終日の結願法要・採燈護摩は特別に公開されました。約1ヶ月にわたる峯入りを無事終えた僧侶たちの姿を見ようと、多くの人で賑わいました。

約1ヶ月にわたる峯入りを無事終えた僧侶たちの姿を見ようと、多くの人で賑わいました。

## ‘アートのみち’のゴールデンウィーク

5月3～7日

国見町在住の芸術家・工芸家の主催による「第15回国見町工房ギャラリー巡り」が開催されました。期間中は、伊美のギャラリー通りやイミテラスを中心に、国見町内約20カ所まで芸術作品の展示や販売が行われ、多くの観光客の目を楽しませました。初日には国東高校双国校商業部の生徒も出店し花を添えました。



## 文殊仙寺の非公開文化財が特別公開 5月3～25日



国東町の文殊仙寺で、非公開文化財の特別公開が行われました。特別公開されたのは、鬼絵面と両界曼荼羅（胎藏界曼荼羅・金剛界曼荼羅）です。公開期間は、当初ゴールデンウィーク中（5月3日～7日）の5日間の予定でしたが、より多くの方に六郷満山文化に触れてもらおうと5月25日まで延長されました。

## 国東の地域ブランド くにさき七島蘭ニュース

### 七島蘭の植え付け作業始まる 4月25日



安岐町塩屋の松原正さんの田んぼで、七島蘭の植え付け作業が始まりました。七島蘭の植え付けは、株分け・植え付け・収穫の作業を考慮し、約1週間ずつ間隔を空けながら5月末まで続いていきます。

この日、植え付け作業に参加していた平田章悟さんと仁平篤志さんは、七島蘭で新規就農を目指しており、今後1年間かけて研修を行っていきます。



左から 平田さん、仁平さん

## 三浦梅園先生の遺徳をしのぶ梅園祭 4月29日



「第229回梅園祭」が、安岐町富清の梅園の里で開催されました。祭事・式典では読経・焼香の後、梅園文化財愛護少年団児童が元気よく「梅園先生をたたえる歌」を合唱。記念行事では、安岐中央小学校児童の作文や西武蔵地区公民館3B体操教室の受講者による元気いっぱいの体操が披露されました。



## 愛犬家とともに 4月23日 ドッグフェスタ10周年

ペットマナーの向上を目的に「くにさきチャリティドッグドッグフェスタ2017」が、国東町小原の黒津崎海岸お祭り広場で開催され、市内外から約1000人の愛犬家や家族連れが集まりました。会場では救助犬や盲導犬の紹介やディスクラッグの実演などが行われたほか、ペットに関する店舗や相談コーナーが並び、来場者の交流も深まっていました。



## 七島蘭の植え付け体験会 5月13日

安岐町の七島蘭学舎近くの田んぼで、七島蘭の植え付け体験会が開催されました。今回の体験会は、豊の国千年ロマン観光圏が企画したものでした。参加者は、七島蘭農家の諸富康弘さんから指導を受け、1株ずつ手作業で植え付けていきました。

